

2024年12月25日  
マーケティング部

# 商工中金景況調査

## 2024年11月調査結果(定例分)



人を思う。未来を思う。

商工中金

1. 目的・調査事項	<p>●目的 中小企業の、景況感をはじめとする実態のタイムリーな把握</p> <p>●調査事項</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 景況感 今月及び先行き</li><li>(2) 業況判断（売上、販売価格、仕入価格、雇用状況、生産・営業用設備、資金繰り）今月及び先行き</li><li>(3) トピックス（中小企業の賃上げの動向について）</li></ul> <p>※トピックス調査分は2025年1月中に公表予定</p>
2. 回答期間・調査頻度	<p>●回答期間 2024年11月13日～11月28日</p> <p>●調査頻度 概ね四半期毎（初回調査：2020年2月）</p>
3. 対象企業	商工中金の取引先中小・中堅企業
4. 企業数	有効回答数 2,197社 （アンケート依頼数 3,723社、回答率 59.0%）
5. 調査方法	インターネットによる直接回答
■ ご照会先	商工中金 マーケティング部（酒井） TEL：080-7007-8264

## 調査回答企業の属性（業種別）

		回答企業数	構成比(%)			回答企業数	構成比(%)
製造業		987	44.9	非製造業		1,210	55.1
	食料品	120	5.5		建設業	72	3.3
	化学	79	3.6		卸売業	340	15.5
	鉄・非鉄	71	3.2		小売業	180	8.2
	印刷業	53	2.4		運輸業	343	15.6
	金属製品	157	7.1		飲食・宿泊	108	4.9
	はん用、生産用、業務用機械	138	6.3		情報通信業	36	1.6
	電気機器	68	3.1		その他非製造業	131	6.0
	輸送用機器	120	5.5				
	その他製造業	181	8.2				
全産業						2,197	100

(注)各項目の構成比の合計は、四捨五入の関係で100%とならない場合がある（以降頁同様）

## 調査回答企業の属性（地域別）

		回答企業数	構成比(%)			回答企業数	構成比(%)
	北海道	57	2.6	北陸	89	4.1	
	東北	166	7.6	近畿	349	15.9	
	関東	666	30.3	中国	167	7.6	
	甲信越	139	6.3	四国	74	3.4	
	東海	241	11.0	九州・沖縄	249	11.3	
全地域					2,197	100	

(注)各項目の構成比の合計は、四捨五入の関係で100%とならない場合がある

地域区分：東北（青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島）、関東（茨城、栃木、群馬、東京、埼玉、千葉、神奈川）、甲信越（山梨、長野、新潟）、東海（静岡、愛知、三重、岐阜）、北陸（富山、石川、福井）、近畿（大阪、滋賀、京都、兵庫、奈良、和歌山）、中国（鳥取、島根、岡山、広島、山口）、四国（香川、徳島、愛媛、高知）、九州・沖縄（福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄）

# 1. 景況感

～11月の景況判断指数は2期連続で「好転」超

<2024年11月の景況感>

## 11月の景況判断指数は2期連続で「好転」超

**今月の景況判断指数（全産業）は52.9(前回比+2.5ポイント)**  
**先行きの景況判断指数は49.1**  
**(今月比-3.8ポイント)**

- 11月・・・「好転」17.6%、「不変」70.7%  
「悪化」11.7%
- 先行き・・・「好転」14.2%、「不変」69.8%  
「悪化」16.0%

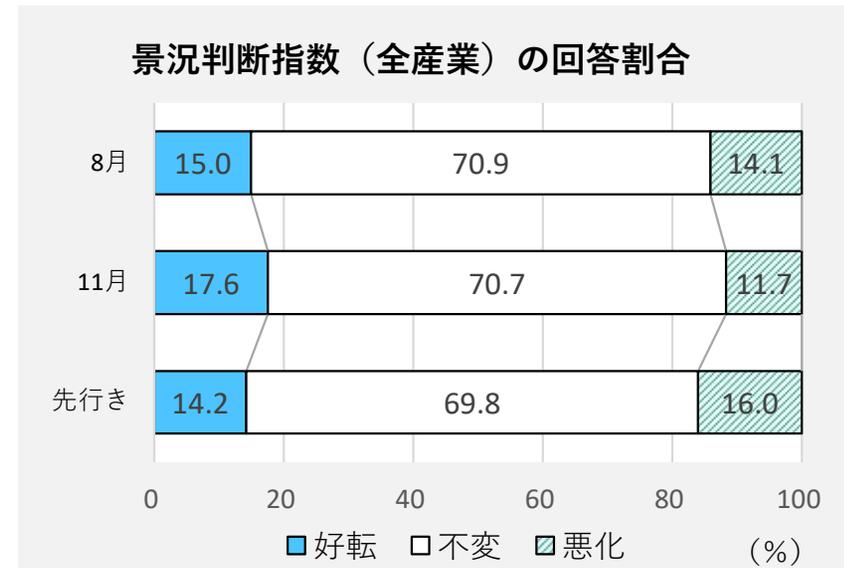
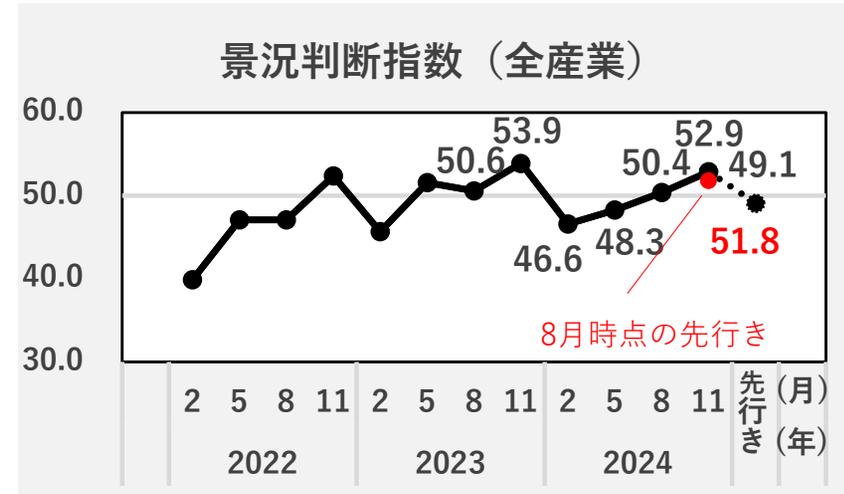
注1) 景況判断指数の算出式

景況判断指数 = ( (好転企業数 × 1 + 不変企業数 × 0.5 + 悪化企業数 × 0) ÷ 当該設問への回答企業数 ) × 100

指数が50を上回っていれば調査対象企業群の景況判断が概ね1~3か月前と比べて好転したことを表し、50を下回っていれば景況判断が概ね1~3か月前と比べて悪化したことを表す。50が中立となる。指数の範囲0.0 ≦ 景況判断指数 ≦ 100.0

注2) 景況判断は、「今月（概ね1~3か月前と比べて）」につき3つの選択肢 = 「1.好転」「2.不変」「3.悪化」から選択。「先行き（向こう3か月程度の見通し）」についても同様。

※本調査の指数・DIは季節調整をしていない。



<2024年11月の景況感>

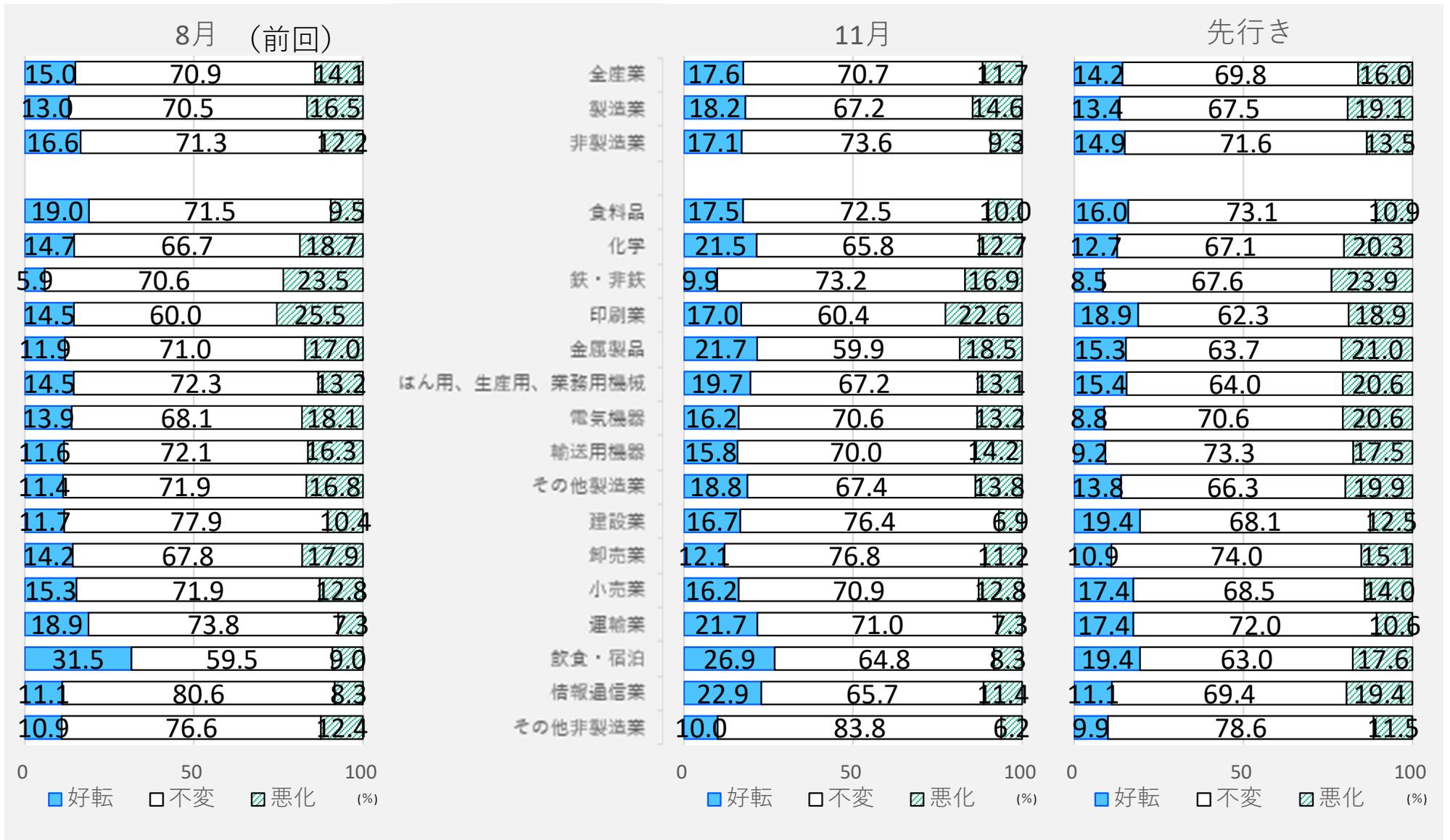
## 鉄・非鉄、印刷を除く全ての業種で「好転」超

業種名	8月	11月 [8月時点の先行き]	(11月-8月)	先行き	回答数(11月)
全産業	50.4	<b>52.9</b> [51.8]	+2.5	<b>49.1</b>	( 2,191 )
製造業	48.3	<b>51.8</b> [51.5]	+3.5	<b>47.2</b>	( 986 )
非製造業	52.2	<b>53.9</b> [52.1]	+1.7	<b>50.7</b>	( 1,205 )
食料品	54.7	<b>53.8</b> [55.8]	-0.9	<b>52.5</b>	( 120 )
化学	48.0	<b>54.4</b> [52.0]	+6.4	<b>46.2</b>	( 79 )
鉄・非鉄	41.2	<b>46.5</b> [50.0]	+5.3	<b>42.3</b>	( 71 )
印刷業	44.5	<b>47.2</b> [48.2]	+2.7	<b>50.0</b>	( 53 )
金属製品	47.4	<b>51.6</b> [50.0]	+4.2	<b>47.1</b>	( 157 )
はん用、生産用、業務用機械	50.6	<b>53.3</b> [50.3]	+2.7	<b>47.4</b>	( 137 )
電気機器	47.9	<b>51.5</b> [52.1]	+3.6	<b>44.1</b>	( 68 )
輸送用機器	47.7	<b>50.8</b> [51.9]	+3.1	<b>45.8</b>	( 120 )
その他製造業	47.3	<b>52.5</b> [51.6]	+5.2	<b>47.0</b>	( 181 )
建設業	50.6	<b>54.9</b> [55.8]	+4.3	<b>53.5</b>	( 72 )
卸売業	48.2	<b>50.4</b> [49.9]	+2.2	<b>47.9</b>	( 340 )
小売業	51.3	<b>51.7</b> [48.7]	+0.4	<b>51.7</b>	( 179 )
運輸業	55.8	<b>57.2</b> [56.2]	+1.4	<b>53.4</b>	( 341 )
飲食・宿泊	61.3	<b>59.3</b> [53.6]	-2.0	<b>50.9</b>	( 108 )
情報通信業	51.4	<b>55.7</b> [48.6]	+4.3	<b>45.8</b>	( 35 )
その他非製造業	49.3	<b>51.9</b> [49.6]	+2.6	<b>49.2</b>	( 130 )

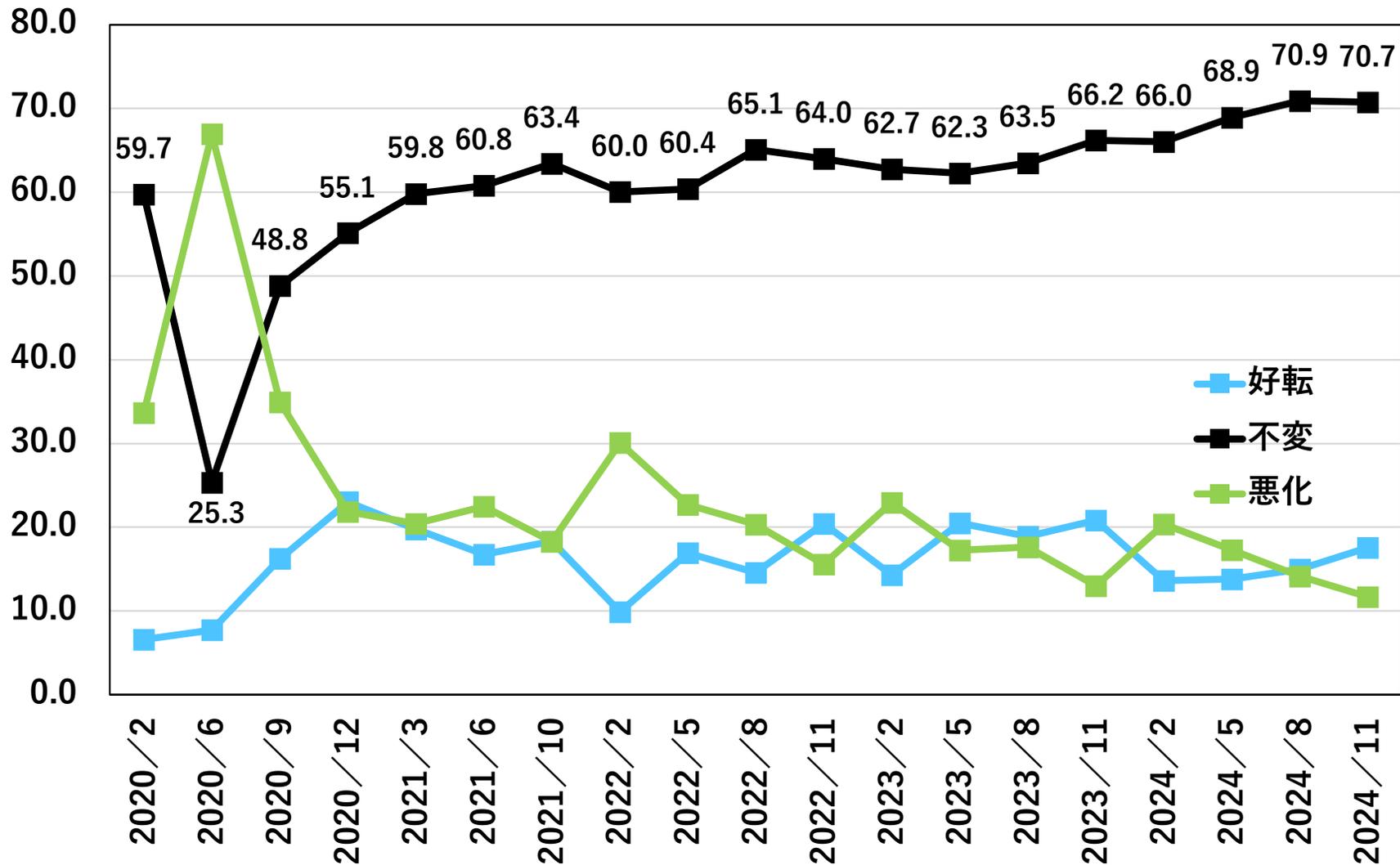
(注) その他製造業は 紙・パルプ、繊維、窯業・土石、木材・木製品を含む。その他非製造業は 不動産・物品賃貸業、サービス業を含む。

<2024年11月の景況感(業種別の回答構成比)>

全産業の「不変」回答の割合は、調査開始以来最高水準



<2024年11月の景況感(業種別の回答構成比)>  
(参考)景況判断 回答構成比の推移



<2024年11月の景況感>

米国政権交代、中国の先行き不透明感、物価高、人手不足などから  
先行きへの不安感がうかがえる



人を思う。未来を思う。

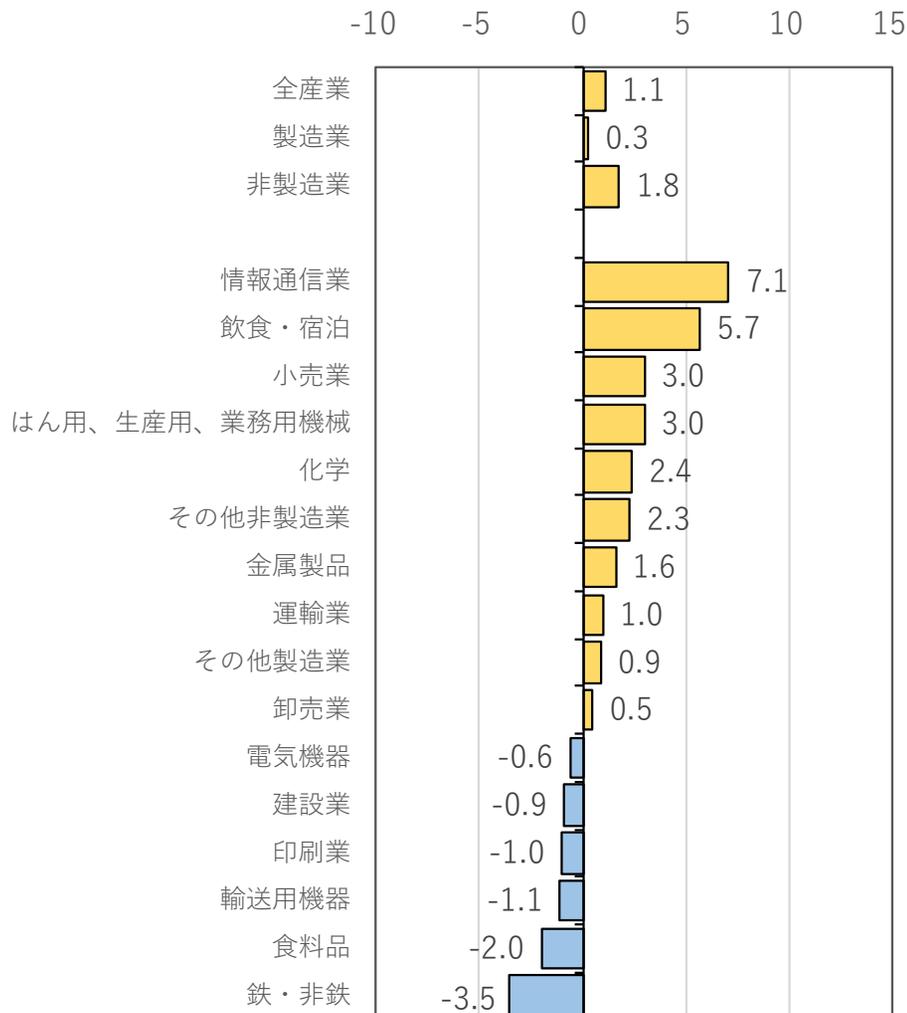
商工中金

	2023年11月			2024年11月		
	今月	先行き	先行き-今月	今月	先行き	先行き-今月
全産業	53.9	50.8	-3.1	52.9	49.1	-3.8
製造業	54.2	50.5	-3.7	51.8	47.2	-4.6
非製造業	53.6	51.0	-2.6	53.9	50.7	-3.2

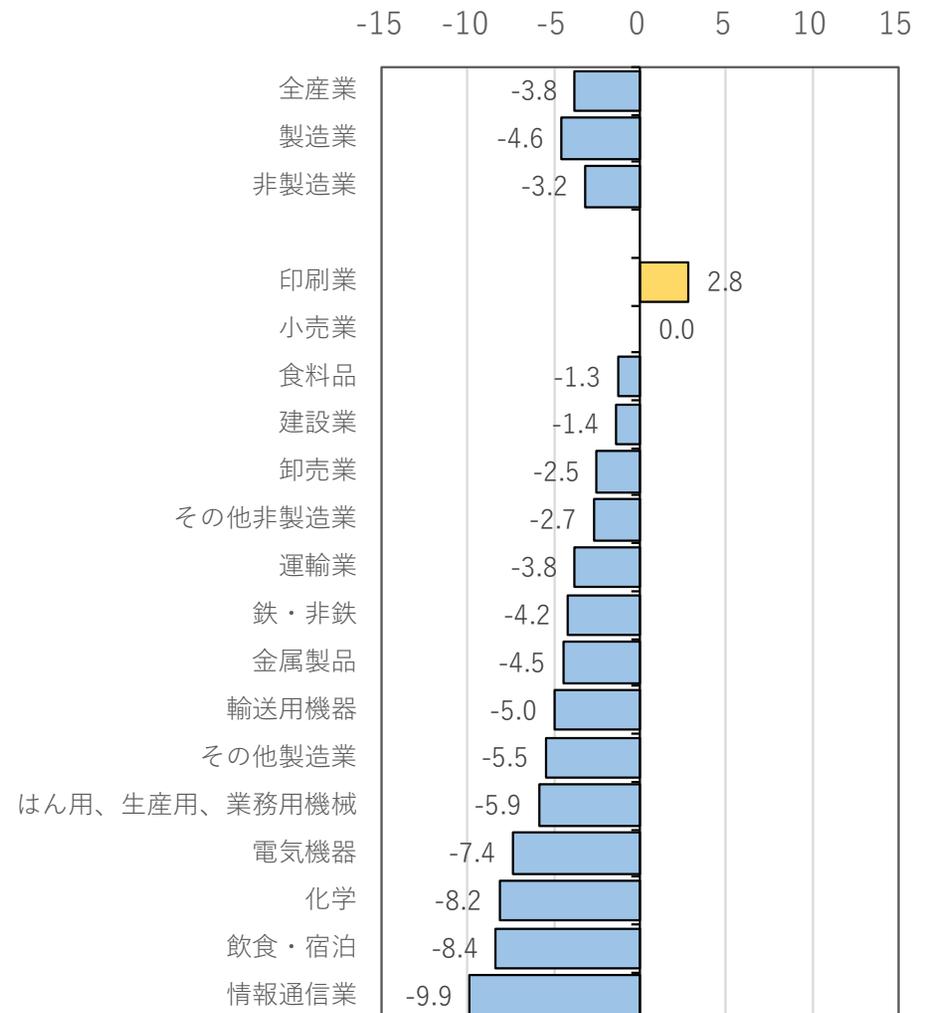
食料品	61.8	56.7	-5.1	53.8	52.5	-1.3
化学	53.8	48.1	-5.7	54.4	46.2	-8.2
鉄・非鉄	50.0	42.4	-7.6	46.5	42.3	-4.2
印刷業	50.9	54.5	3.6	47.2	50.0	2.8
金属製品	52.6	49.1	-3.5	51.6	47.1	-4.5
はん用、生産用、業務用機械	50.3	48.3	-2.0	53.3	47.4	-5.9
電気機器	47.4	51.3	3.9	51.5	44.1	-7.4
輸送用機器	58.5	52.9	-5.6	50.8	45.8	-5.0
その他製造業	56.9	50.8	-6.1	52.5	47.0	-5.5
建設業	55.3	54.6	-0.7	54.9	53.5	-1.4
卸売業	53.1	49.9	-3.2	50.4	47.9	-2.5
小売業	49.7	49.7	0.0	51.7	51.7	0.0
運輸業	51.1	50.3	-0.8	57.2	53.4	-3.8
飲食・宿泊	70.7	60.1	-10.6	59.3	50.9	-8.4
情報通信業	46.7	46.7	0.0	55.7	45.8	-9.9
その他非製造業	55.0	50.0	-5.0	51.9	49.2	-2.7

# <2024年11月の景況感（前回8月調査時点の先行き、今回調査の先行きとの比較）> ほぼ全業種で先行き指数は悪化を見込む

今回実績－前回8月時点の見通し



先行き－今回実績





## <2024年11月の景況感(地域別の景況感)> 全地域で「好転」超

地域名	8月	11月		(11月-8月)	先行き	回答数(11月)	構成比 (%)	
		[8月時点の先行き]					製造業	非製造業
全国	50.4	<b>52.9</b>	[51.8]	+2.5	<b>49.1</b>	( 2,191 )	44.9	55.1
北海道	57.8	<b>54.4</b>	[49.1]	-3.4	<b>50.0</b>	( 57 )	28.1	71.9
東北	50.3	<b>56.9</b>	[54.4]	+6.6	<b>52.1</b>	( 166 )	32.5	67.5
関東	49.1	<b>50.6</b>	[52.1]	+1.5	<b>47.9</b>	( 665 )	45.9	54.1
甲信越	47.7	<b>53.3</b>	[49.7]	+5.6	<b>46.0</b>	( 138 )	54.3	45.7
東海	52.3	<b>52.5</b>	[51.6]	+0.2	<b>46.3</b>	( 240 )	58.8	41.3
北陸	54.5	<b>53.4</b>	[52.3]	-1.1	<b>49.4</b>	( 89 )	51.7	48.3
近畿	49.7	<b>52.7</b>	[49.9]	+3.0	<b>49.3</b>	( 349 )	48.7	51.3
中国	54.6	<b>54.2</b>	[57.2]	-0.4	<b>49.7</b>	( 165 )	38.8	61.2
四国	47.3	<b>50.7</b>	[43.4]	+3.4	<b>51.4</b>	( 74 )	35.1	64.9
九州・沖縄	49.6	<b>56.5</b>	[52.8]	+6.9	<b>53.2</b>	( 248 )	35.9	64.1

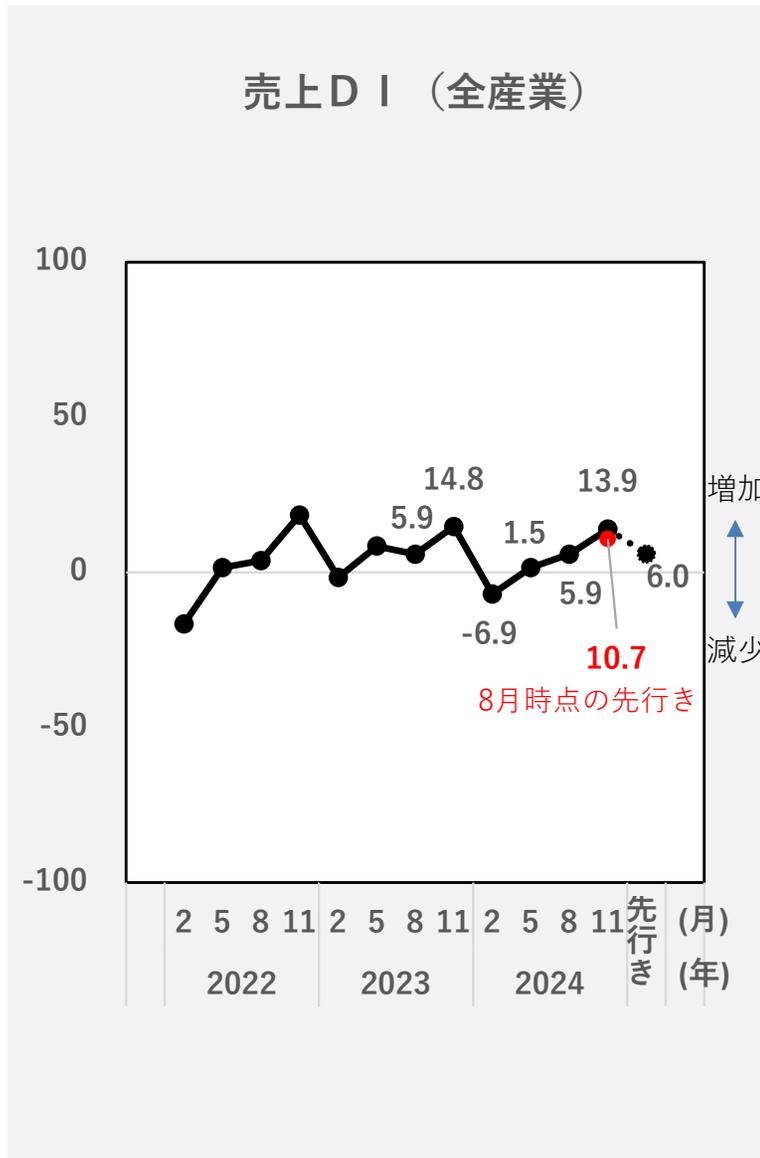
(注) 全国ベースで調査対象企業の抽出を行っているため、地域ごとの業種構成は考慮していない。  
そのため、各地域間の比較や、全国と各地域を比較する際は注意を要する。

## 2. 業況判断

～【売上】製造業、非製造業ともに「増加」超

<2024年11月の業況判断>

**【売上】 製造業、非製造業ともに「増加」超**



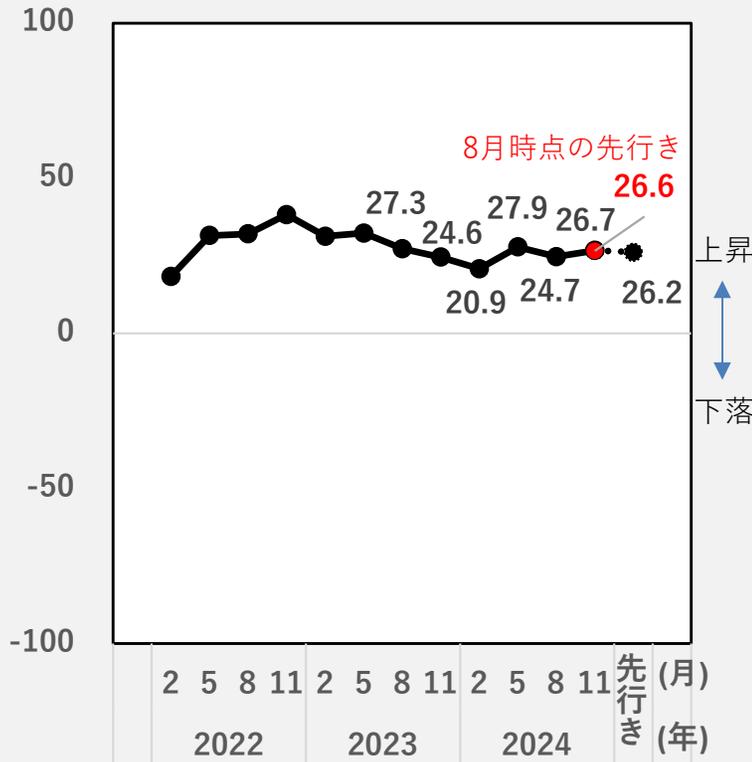
	24年8月	24年11月 [8月時点の先行き]	先行き
全産業	5.9	13.9 [10.7]	6.0
製造業	▲ 0.5	10.1 [9.8]	▲ 1.0
非製造業	11.2	17.0 [11.5]	11.7
食料品	23.5	24.2 [22.6]	18.3
化学	▲ 1.3	15.2 [6.7]	0.0
鉄・非鉄	▲ 17.6	1.4 [1.2]	▲ 11.3
印刷業	▲ 14.5	0.0 [5.5]	▲ 5.7
金属製品	▲ 5.7	13.4 [10.2]	▲ 1.3
はん用、生産用、業務用機械	7.6	6.6 [4.4]	▲ 5.1
電気機器	▲ 2.8	1.5 [5.6]	▲ 4.4
輸送用機器	▲ 3.1	4.2 [7.8]	▲ 2.5
その他製造業	▲ 4.9	12.2 [14.1]	▲ 3.3
建設業	5.3	16.7 [17.1]	15.3
卸売業	1.6	13.9 [6.3]	8.3
小売業	10.3	13.9 [6.3]	14.5
運輸業	20.2	21.7 [20.0]	18.6
飲食・宿泊	31.8	27.8 [15.3]	5.6
情報通信業	8.3	14.3 [0.0]	▲ 2.8
その他非製造業	2.9	9.2 [8.0]	6.2

(DIの定義は資料末尾に記載)

<2024年11月の業況判断>

**【販売価格】小売業で「上昇」超幅が拡大**

販売価格DI（全産業）



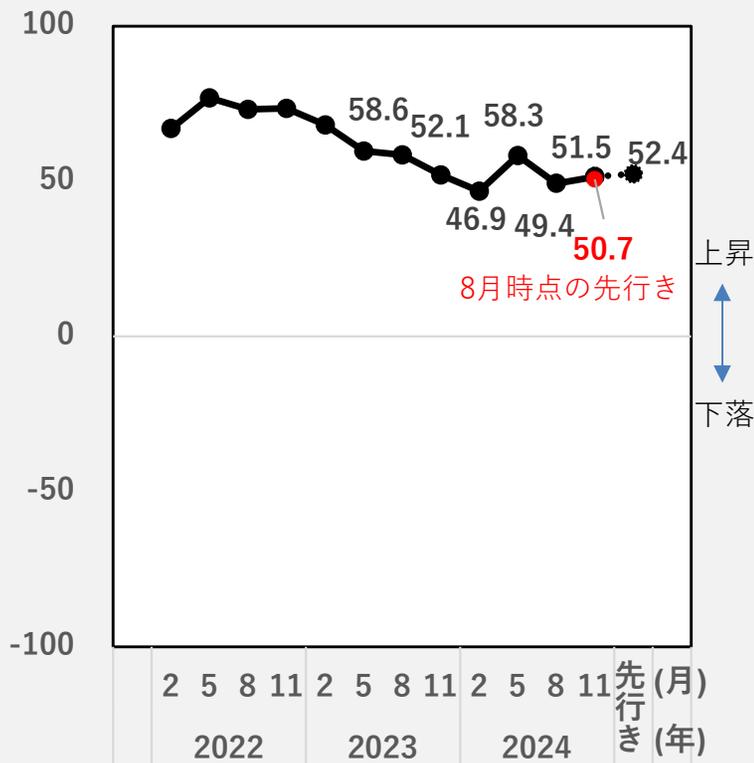
	24年8月	24年11月 [8月時点の先行き]	先行き
全産業	24.7	26.7 [26.6]	26.2
製造業	20.7	22.5 [24.9]	22.0
非製造業	28.1	30.2 [28.1]	29.6
食料品	27.7	27.5 [32.8]	32.5
化学	18.7	30.4 [25.3]	22.8
鉄・非鉄	24.7	4.2 [14.1]	▲ 1.4
印刷業	29.1	20.8 [32.7]	26.4
金属製品	16.0	19.7 [24.3]	18.6
はん用、生産用、業務用機械	17.0	21.9 [18.4]	20.6
電気機器	12.5	25.0 [23.6]	19.1
輸送用機器	24.6	21.7 [22.5]	20.8
その他製造業	20.0	26.0 [29.7]	28.3
建設業	26.3	22.2 [25.3]	25.0
卸売業	23.9	33.2 [26.1]	33.2
小売業	32.3	47.2 [36.5]	43.0
運輸業	27.7	23.5 [25.7]	23.0
飲食・宿泊	53.2	40.7 [37.3]	32.4
情報通信業	11.1	14.3 [25.0]	36.1
その他非製造業	19.7	16.0 [22.6]	17.6

(DIの定義は資料末尾に記載)

<2024年11月の業況判断>

【仕入価格】全体としては「上昇」超幅が小幅に拡大

仕入価格DI (全産業)



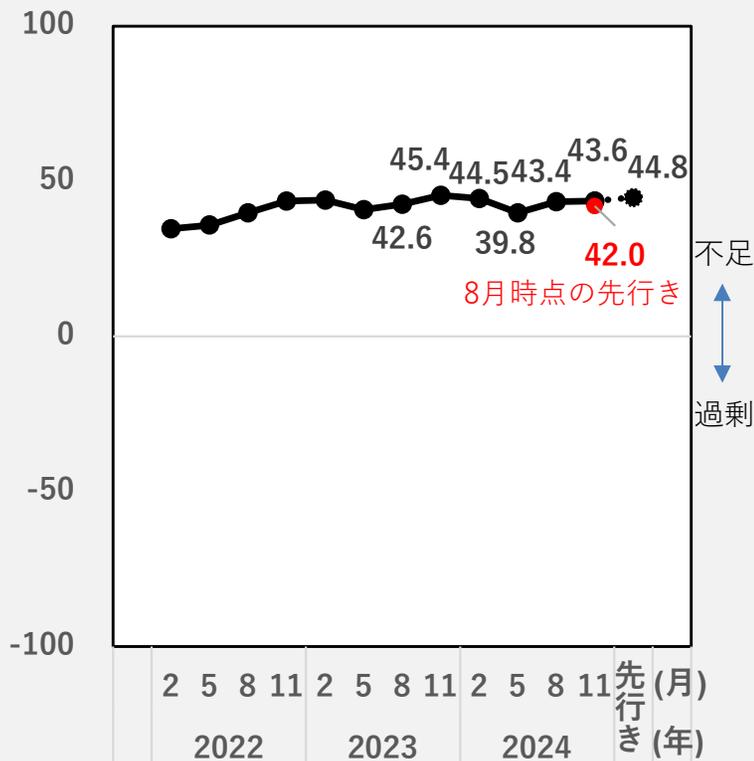
	24年8月	24年11月 [8月時点の先行き]	先行き
全産業	49.4	51.5 [50.7]	52.4
製造業	47.7	47.5 [48.1]	47.3
非製造業	50.7	54.8 [52.8]	56.6
食料品	64.2	61.7 [62.8]	69.7
化学	46.7	53.2 [52.0]	41.8
鉄・非鉄	36.5	18.3 [24.7]	18.3
印刷業	60.0	54.7 [72.7]	67.9
金属製品	44.6	47.8 [48.9]	45.9
はん用、生産用、業務用機械	50.9	48.2 [49.4]	44.4
電気機器	40.3	52.9 [42.3]	51.5
輸送用機器	44.6	45.8 [41.5]	42.5
その他製造業	42.7	43.1 [44.3]	45.3
建設業	56.6	51.4 [53.9]	55.6
卸売業	44.7	49.7 [46.7]	52.5
小売業	46.4	53.1 [51.5]	54.7
運輸業	51.2	53.3 [53.5]	55.7
飲食・宿泊	80.7	85.2 [75.2]	82.4
情報通信業	44.4	62.9 [63.9]	69.4
その他非製造業	47.1	49.2 [48.1]	47.3

(DIの定義は資料末尾に記載)

<2024年11月の業況判断>

【雇用状況】高水準の「不足」超が続く

雇用状況DI（全産業）



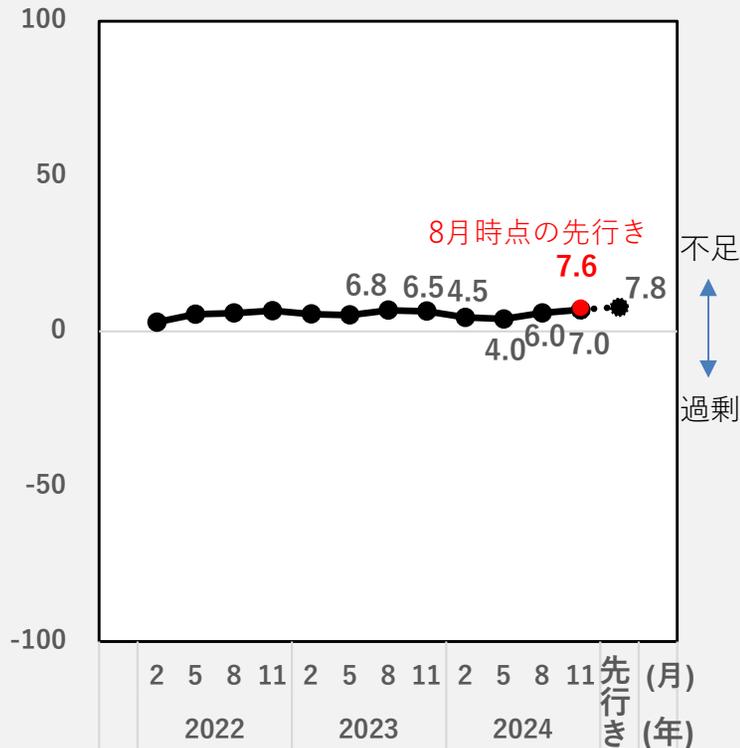
	24年8月	24年11月 [8月時点の先行き]	先行き
全産業	43.4	43.6 [42.0]	44.8
製造業	32.1	32.8 [29.0]	34.4
非製造業	52.8	52.4 [53.0]	53.3
食料品	38.0	45.8 [36.7]	42.9
化学	44.0	56.4 [41.1]	48.1
鉄・非鉄	36.5	43.7 [37.0]	42.3
印刷業	36.4	19.2 [14.6]	24.5
金属製品	30.7	28.8 [30.5]	34.0
はん用、生産用、業務用機械	36.1	36.5 [25.6]	39.0
電気機器	15.3	13.2 [23.6]	16.4
輸送用機器	25.0	22.5 [23.0]	25.8
その他製造業	29.3	28.3 [26.9]	31.7
建設業	61.0	62.5 [69.8]	66.7
卸売業	32.6	37.1 [36.6]	34.8
小売業	64.6	60.0 [57.2]	61.8
運輸業	62.5	60.8 [64.3]	61.8
飲食・宿泊	70.6	65.4 [64.1]	71.0
情報通信業	52.8	40.0 [42.9]	45.7
その他非製造業	47.4	47.3 [49.6]	48.1

(DIの定義は資料末尾に記載)

<2024年11月の業況判断>

【生産・営業用設備】 「不足」 超幅がやや拡大

生産・営業用設備DI  
(全産業)



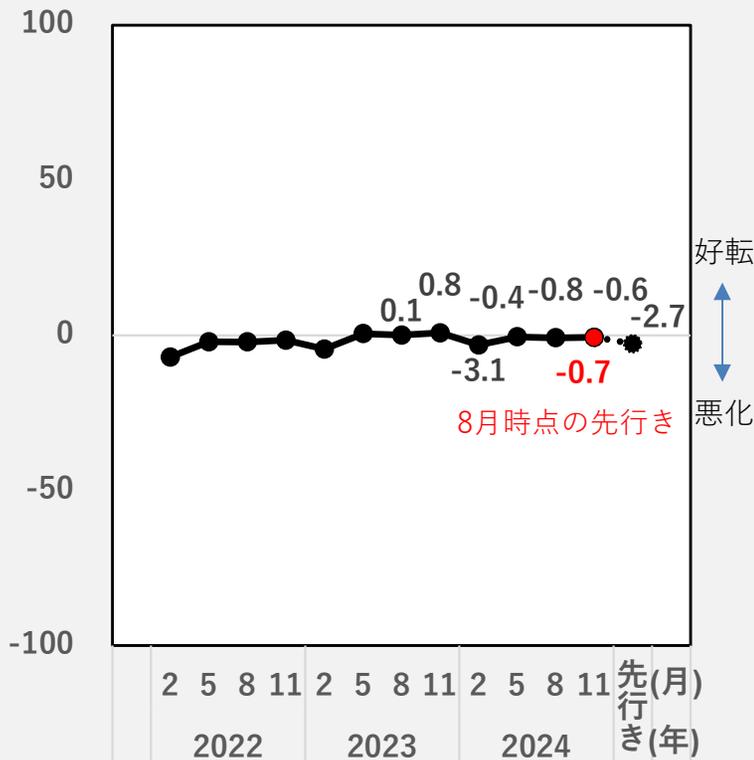
	24年8月	24年11月 [8月時点の先行き]	先行き
全産業	6.0	7.0 [7.6]	7.8
製造業	3.6	5.0 [6.2]	6.4
非製造業	7.9	8.6 [8.8]	9.0
食料品	19.0	18.3 [21.9]	17.5
化学	5.3	16.5 [9.5]	16.5
鉄・非鉄	▲ 1.2	4.2 [1.2]	2.8
印刷業	3.6	5.7 [7.3]	7.7
金属製品	1.1	5.7 [4.5]	6.4
はん用、生産用、業務用機械	1.9	3.6 [4.5]	8.1
電気機器	▲ 9.7	▲ 4.4 [▲ 4.2]	▲ 4.4
輸送用機器	▲ 2.3	▲ 3.3 [▲ 0.8]	▲ 0.8
その他製造業	7.0	0.6 [7.0]	3.3
建設業	1.3	1.4 [2.6]	7.0
卸売業	3.2	5.3 [4.0]	5.7
小売業	6.2	6.2 [6.3]	5.7
運輸業	17.0	15.5 [17.1]	16.6
飲食・宿泊	11.2	8.6 [12.1]	6.7
情報通信業	▲ 5.6	2.9 [0.0]	2.8
その他非製造業	5.1	8.4 [8.0]	7.6

(DIの定義は資料末尾に記載)

<2024年11月の業況判断>

【資金繰り】製造業を中心に小幅の「悪化」超が続く

資金繰りDI (全産業)



	24年8月	24年11月 [8月時点の先行き]	先行き
全産業	▲ 0.8	▲ 0.6 [▲0.7]	▲ 2.7
製造業	▲ 3.9	▲ 2.6 [▲1.7]	▲ 5.8
非製造業	1.9	1.1 [0.1]	▲ 0.2
食料品	4.4	5.8 [1.5]	▲ 3.3
化学	▲ 5.4	2.5 [5.4]	5.1
鉄・非鉄	▲ 10.6	▲ 11.3 [▲9.4]	▲ 15.5
印刷業	▲ 9.1	▲ 9.4 [▲3.6]	▲ 18.9
金属製品	▲ 4.0	▲ 1.3 [▲5.6]	▲ 6.4
はん用、生産用、業務用機械	▲ 3.8	▲ 4.4 [▲5.1]	▲ 6.6
電気機器	▲ 8.3	▲ 8.8 [▲1.4]	▲ 11.8
輸送用機器	▲ 2.3	▲ 7.5 [0.8]	▲ 3.3
その他製造業	▲ 4.3	0.6 [2.2]	▲ 2.8
建設業	1.3	1.4 [1.3]	5.6
卸売業	1.8	0.9 [▲0.8]	1.2
小売業	5.1	▲ 1.7 [2.1]	▲ 5.0
運輸業	▲ 0.3	1.5 [▲1.1]	2.4
飲食・宿泊	▲ 0.9	1.9 [0.0]	▲ 6.5
情報通信業	2.8	▲ 2.9 [0.0]	▲ 5.6
その他非製造業	5.1	4.6 [2.2]	0.0

(DIの定義は資料末尾に記載)

## (参考) 業況判断DIの定義

<p><b>業況判断</b></p>	<p>各項目の「今月」および「先行き」について、下記3つの選択肢（1.~3.）の中から、調査対象企業自身の業況についての判断（業況感）に該当するものを選択する</p>
<p><b>DIの算出方法</b> (Diffusion Index の略)</p>	<p>①売上…「1.増加」「2.不変」「3.減少」          ②販売価格…「1.上昇」「2.不変」「3.下落」          ③仕入価格…「1.上昇」「2.不変」「3.下落」          ④雇用状況…「1.不足」「2.適正」「3.過剰」          ⑤生産・営業用設備…「1.不足」「2.適正」「3.過剰」          ⑥資金繰り…「1.好転」「2.不変」「3.悪化」</p> <p>業況判断DI = 「1.」 - 「3.」の企業割合 (%)          DIの範囲 ▲100.0 ≦ 業況判断DI ≦ 100.0</p> <p>②販売価格、③仕入価格、⑥資金繰りは「今月」はおおむね1~3か月前と比べて、「先行き」は今月と比べた向こう3か月程度の見通しについて、それぞれ選択肢から選んで回答。</p> <p>④雇用状況、⑤生産・営業用設備は、調査対象企業が「適正」と考えている水準を基準として、「今月」と「先行き」の状況を、それぞれ選択肢から選んで回答。</p>

## <2024年11月の景況感・業況判断>

# 景況感・業況判断に関連する自由記載から

### 【売上・業績に関する前向きな声】

- ✓ **全体的に建設需要**があり、ここ数ヶ月は安定して当社製品の需要あり。(建設)
- ✓ 自動車業界の認証不正の影響による受注減はあったが、**それ以外の製品受注が順調**。(その他製造)

### 【価格転嫁の進展】

- ✓ 売上・利益増加は、受注増加に加え、**エネルギー費や運輸費、労務費上昇分の転嫁交渉が結実**したことによる。(鉄・非鉄)
- ✓ 2024年度は**全取引先に値上げ交渉を実施し、1件を除いて了解**を得た。(その他製造)

### 【人手不足による機会損失】

- ✓ 受注数は増加しているが、**人員不足で効率的な生産が十分出来ていない**。(食料品)
- ✓ 人員に限りがあり、**売上高を好転させるために販売価格を引き上げたが、販売価格がやや頭打ち**になっている印象。(飲食・宿泊)

### 【下請法の基準改正による資金繰への影響】

- ✓ 得意先からの支払が、現金への切替やサイト短縮の傾向が顕著で、**資金繰りにかなりの余裕**が出てきた。(電気機器)
- ✓ 支払を手形から振込に変更し、**資金繰りが悪化**。(はん用、生産用、業務用機械)

### 【諸コストの増加】

- ✓ **大型設備投資を行ったが、人件費・物価上昇などにより当初予算を大幅に超過**。自己資本で穴埋めすることとなり、当座の資金繰りは窮屈感を増している。(鉄・非鉄)
- ✓ **最低賃金の上昇**に伴い、全従業員の給与見直しが経営に影響。(その他非製造)

### 【2024年問題の現状】

- ✓ 物流2024年問題解決に向けて、**協力を得られる取引先とそうでない先の差**が出始めている。(運輸)
- ✓ **運賃値上げ効果は一段落**。(運輸)

## <2024年11月の景況感・業況判断>

# 景況感・業況判断に関連する自由記載から

### 【半導体関連業界内での景況感の違い】

- ✓ <プラスの声> 売上の過半が半導体設備で、いずれ低迷するであろうと考えているが、**現状1~2年で落ち込む心配が無い。**(金属製品)
- ✓ <マイナスの声> 半導体製造メーカー向けは引き続き低調と予測。**2025年からの立上りを期待していたが、復調の兆しが無い。**(電気機器)
- ✓ <マイナスの声> コロナ禍前から続いていた半導体需要の高まりが**生産調整局面に入った段階**という認識。(はん用、生産用、業務用機械)

### 【先行きへの不安感】

- ✓ **中国向けの販売不振**など、先行きが見通せない。**為替レートの動向**も注視。(輸送用機器)
- ✓ **トランプ大統領が再選**となり、先行きを**読みづらい。**(金属製品)
- ✓ **消費マインドの低下**により**販売数量が減っている。**(その他製造業)

### 【自動車関連業界内での景況感の違い】

- ✓ <プラスの声> 自動車関係の**認証不正問題が収束し増産に転じる見込。**(鉄・非鉄)
- ✓ <マイナスの声> **中国向け売上が減少見込**であり、**当面回復は見込薄い。**(電気機器)

### 【鉄鋼・金属製品業界】

- ✓ 世界的な需要低迷により**販売量が減少傾向**であることに加え、**過剰供給による商品相場の下落**により**売上・単価ともに下落基調。**(卸売業)
- ✓ **半導体製造装置やEVなど自動車向けの部品受注は低迷**が続き振るっていない。一方で**生産設備向け部品が受注拡大**しつつあり、**来年以降受注増を期待。**(金属製品)

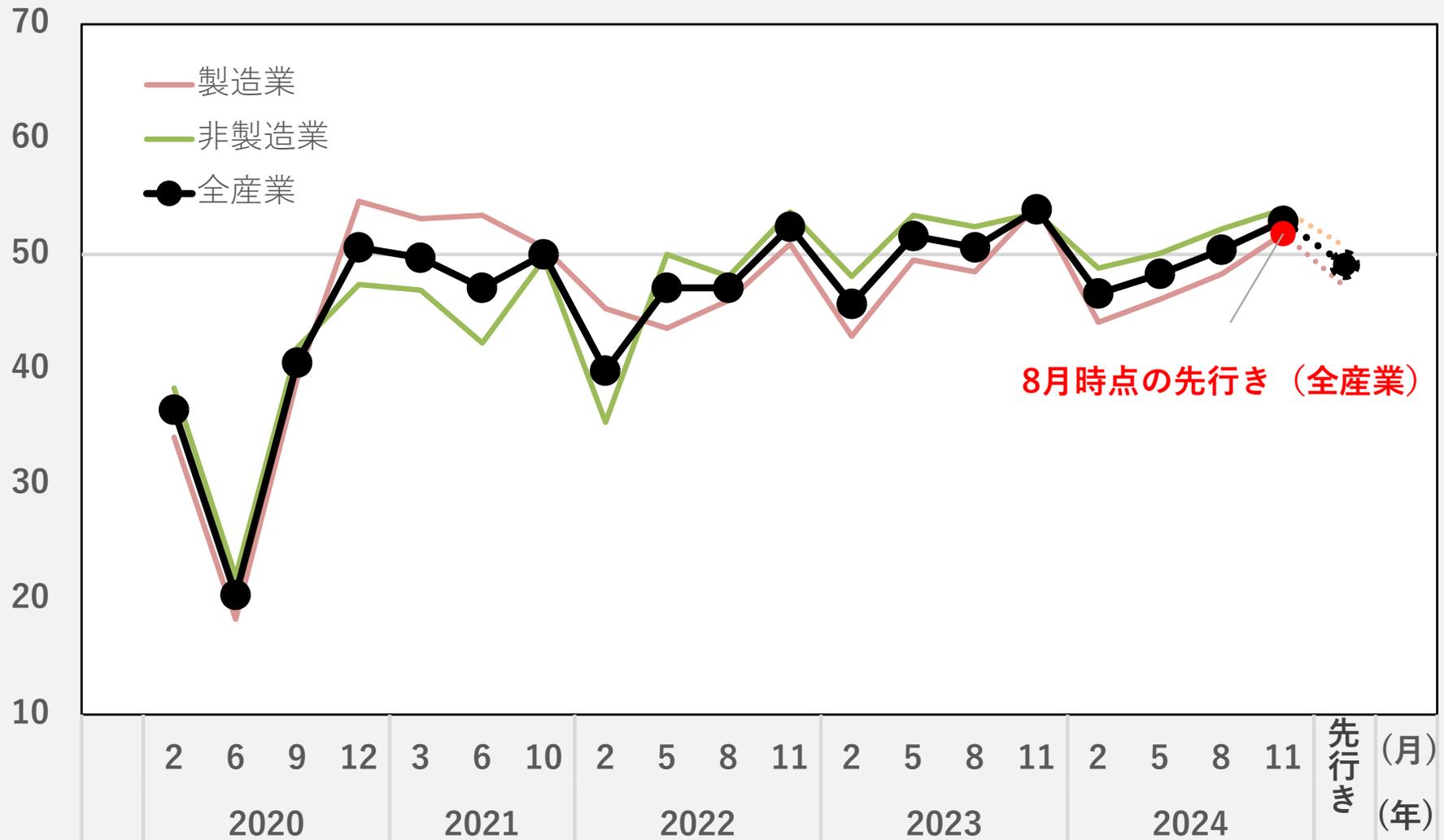
### 【需要の変化を踏まえた挑戦】

- ✓ コロナ以降、**海外需要が回復しないこと**などから**厳しい状況が続く**と思われるため、**新商品の開発や異業種への進出**を見据え、**日々開発活動**を続けている。(化学)

※文意を損なわない範囲で一部記載を変更している (見出しは商工中金にて適宜作成)。

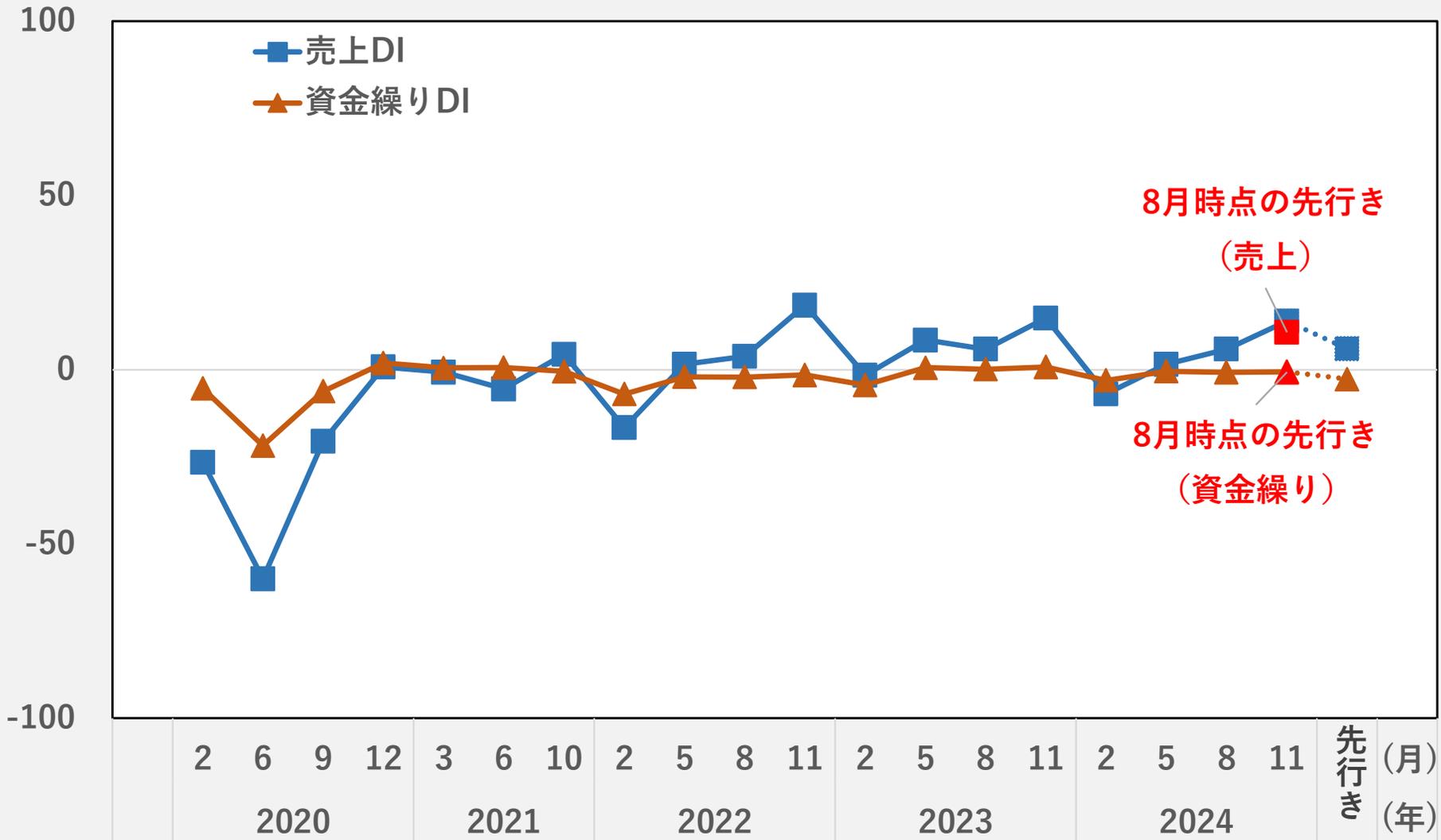
(参考) 第1回調査からの長期時系列推移 (景況判断指数)

景況判断指数 (全産業)



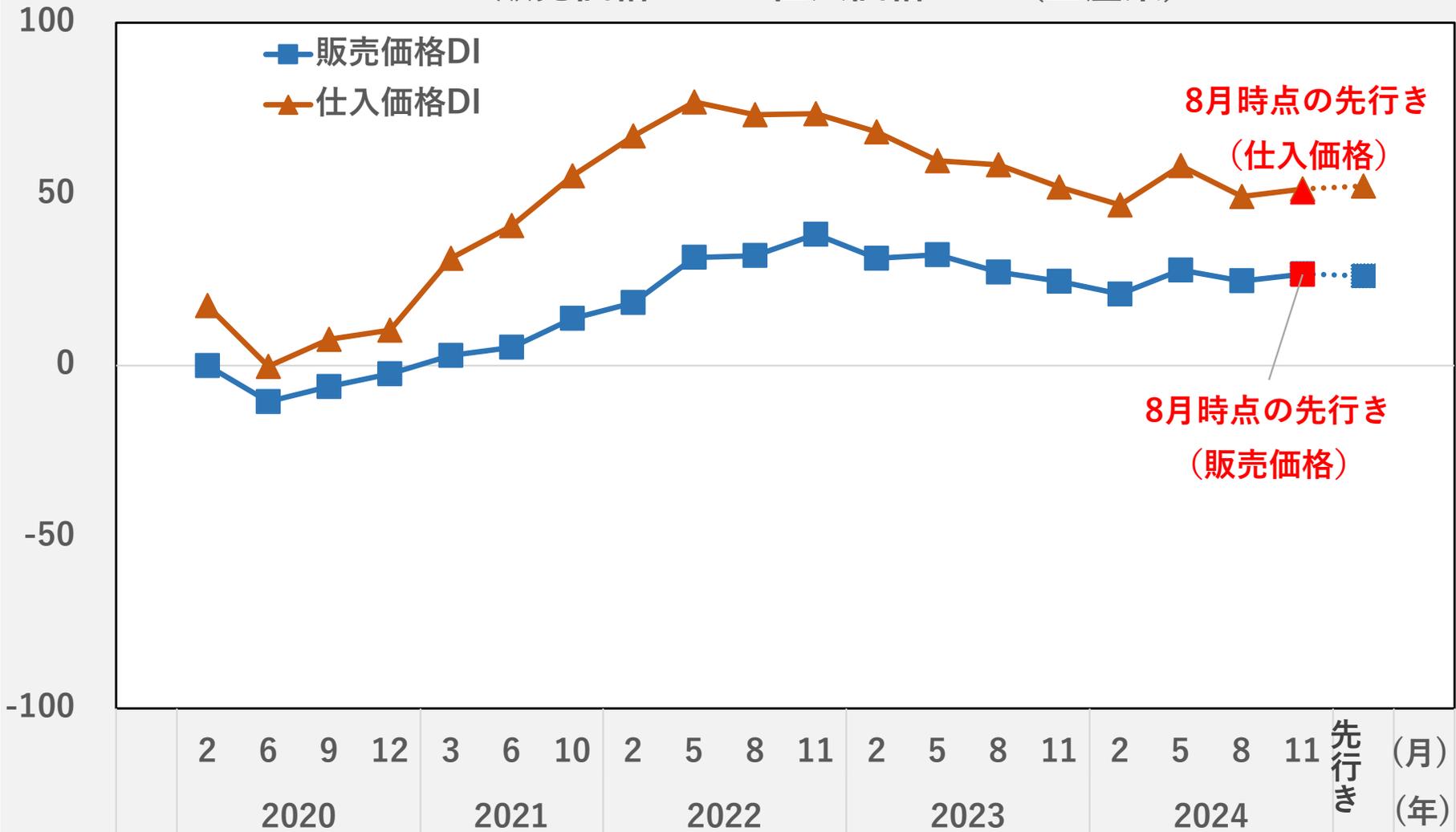
(参考) 第1回調査からの長期時系列推移 (売上、資金繰り)

売上DI・資金繰りDI (全産業)



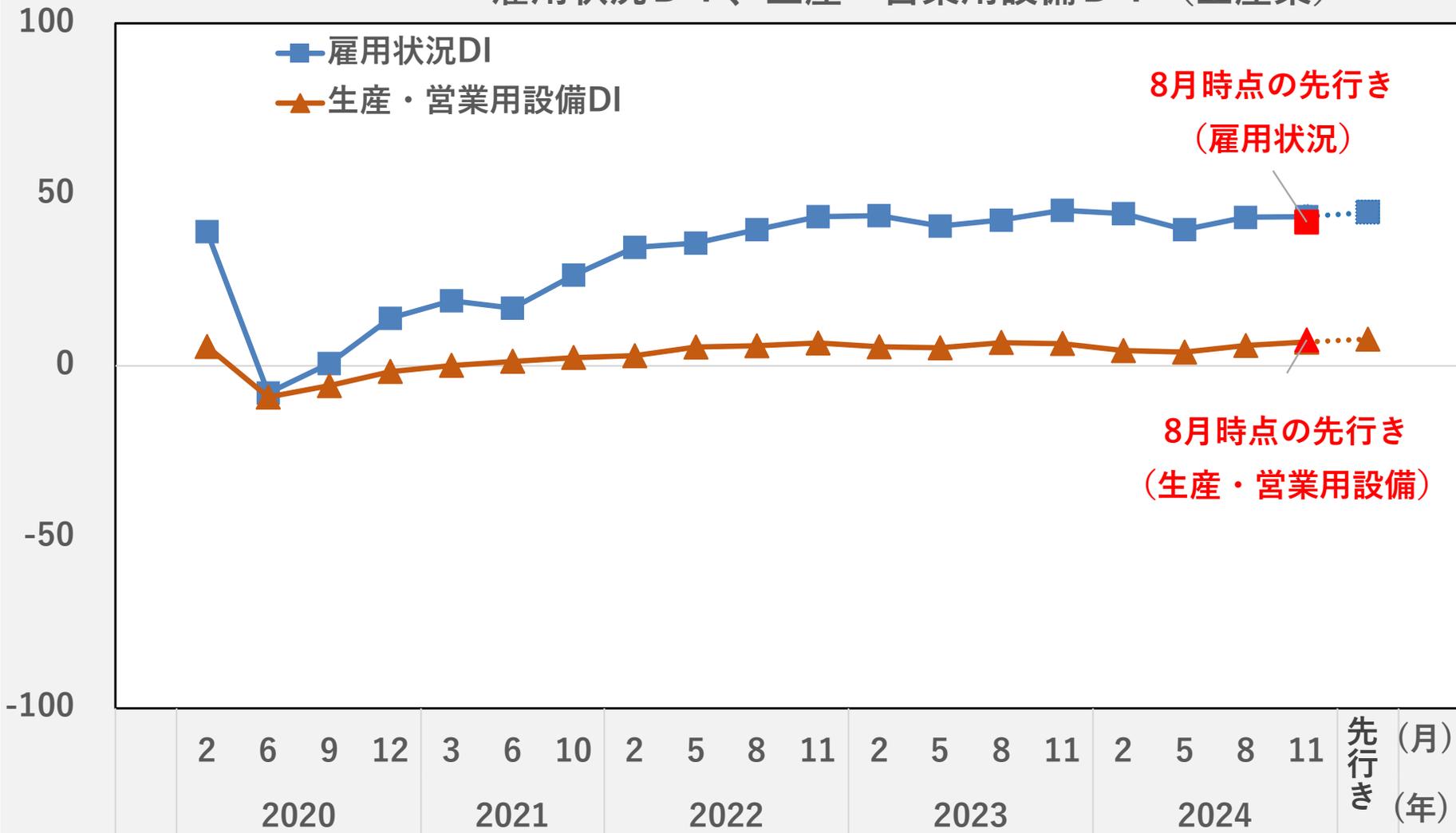
(参考) 第1回調査からの長期時系列推移 (販売価格、仕入価格)

販売価格DI・仕入価格DI (全産業)



(参考) 第1回調査からの長期時系列推移 (雇用状況、生産・営業用設備)

雇用状況DI、生産・営業用設備DI (全産業)





人を思う。未来を思う。

商工中金